

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

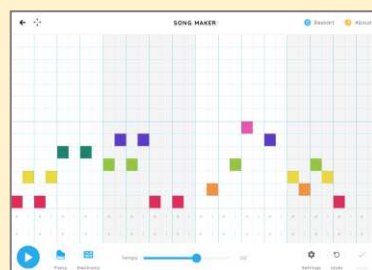
学校名	井原市立美星中学校	実践者名	中川 紀子
教科	音楽	学年	第1学年
活用内容	創作活動 意見交流 振り返り	実践日	令和3年10月26日(金)
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう ～ My Melody ♪～ (教育芸術社・中学生の音楽1)		

活用の概要 (目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

これまでは、創作活動で完成した作品を音にする手段が限られていたが、「Chrome Music Lab-Song Maker (ソングメーカー)」に入力することで、生徒の力で音を再現でき、他者と共有することができる。

【本時の流れ】

- 教科書に記載してある順序で4小節の旋律をつくる。
※「上行」や「下行」、「順次進行」、「跳躍進行」を用いる。
※ハ長調のI-IV-V-Iの和音の動きに合わせてつくる。
※教科書内のワークシートに楽譜が記入してある。
- ワークシートの楽譜をソングメーカーに入力する。
- 隣の人と互いに聴き合い、改善点を指摘し合って作品を修正する。(要イヤホン)
- 完成したソングメーカーの作品をFormsにURLを添付して提出する。
- スプレッドシートの作品をグループで聴き合い、Jamboardに感想を記入する。(要イヤホン)
- 他者からの感想を読み、振り返りをFormsに入力する。



【端末に関わる教師の準備】

- Classroom を開設する。
 - ソングメーカーを Classroom に添付する。
 - 作品を提出する Forms を作成し、Classroom に添付する。
 - 提出する Forms のスプレッドシートを作成し、クラスの生徒と共有した後に、Classroom に添付する。
 - Jamboard をグループごとに作成し、Classroom に添付する。
 - 振り返りを Forms で作成し、Classroom に添付する。
- ※③④は、スプレッドシートに直接提出する方法もある。



実践者の手ごたえ

音を再現するための楽器を生徒分用意する必要はなく、保存もできる。生徒自身で作曲した旋律を生徒の力で表現することができたことがよかった。
生徒間の共有も容易にでき、感想を個別に伝えることができた。

児童生徒・保護者等の主な反応や声

「音を当てはめるのが大変だったけれど、できた時にいい曲ができたと思えた。」「友達の作品と聴き比べられたので楽しかった。」「タブレットですると意外と簡単に音楽がつけると感じた。」「大変だったけど、いざやり始めたら思いのほか熱中できた。」「みんなの作品を聴いて、リズム感が良かったり、人柄が出ていて面白かった。」